

ラウンドテーブル・2015 第1回

「沖縄〈と〉私・たち」という〈問い〉について

I、これまでのラウンドテーブルの歩み

— 『敗戦／戦後70年』を自分の問いにできるのかという〈問い〉を運動させる

- 1、白井聡氏の「永続敗戦論」と〈私〉という主体の間に道をつける必要がある
- 2、武藤一羊氏の戦後日本国家論に触れて
「60年安保を戦犯岸信介が結んだことは、日本国家の脱帝国化・脱植民地化の失敗を明らかにした」、「戦争責任」—「戦後責任」—「戦後発生責任」があるという認識→生活の総体を覆う脱植民地化回避のシステム
- 3、「列島住民」（「国民」とは別の主体）として日本国家に対し要求すべきこと
 - ①帝国継承原理を内に抱えながら米国の覇権主義に対して自発的隷従を続けるという、主権国家としてはあり得ない歪んだありかたを正すこと
 - ②自分もその中において自覚することが難しい脱植民地化回避システムを破壊し、アジアの民衆とともに脱植民地化し、「民衆の安全保障」へと道を開いていくこと
 - ③ ①と②を表裏一体のものとしてとらえ、日本の「構成的解体」を進める

II、『敗戦／戦後70年』を自分の問いにできるのかという〈問い〉を運動させるために — 「沖縄〈と〉私・たち」という〈問い〉に焦点化する

- 1、「沖縄〈と〉私・たち」の〈と〉の在り方という課題の中にIの3の①も②も入る。だから、この〈と〉を運動させることでIの3の③に迫りたい
 - ①沖縄に対する私・たちの立ち位置を示す〈と〉
 - ・辺野古や高江現地を応援する＝「私・たち」には還らない〈と〉
 - ・沖縄—日本という「鏡像」的關係＝沖縄は沖縄であり日本は日本であると問題を外部化する〈と〉
 - これらの〈と〉では、「基地問題」は「地域の事情」であり、日米間で解決しなければならない政治課題ではないとする日本政府の足場を崩せない。
 - ②そうではない〈と〉へと運動させるにはどうすべきか
 - 沖縄に基地を押し付け、日米の軍事植民地にしてるのは私・たちヤマトであるという認識から出発すること。
 - ・「平和憲法」の外に日米安保があり、安保は軍事植民地沖縄があることで成り立っている。つまり沖縄は常に「平和憲法」の外にあり、国家主権の外／国民主権の外にある。
 - ・逆に言えば、この安保に届かない「平和憲法」の内にヤマトの私・たちは、自発的に幽閉されている。「平和憲法」を壊すな！でいいのか？今や日米安保と軍事植

民地沖縄が存在することとセットになっている「平和憲法」を、守れ！ということ
でいいのか？

③例えて言うなら「21 世紀の安保闘争」が、「沖縄〈と〉私・たち」の〈と〉を運動させる？！

- ・60 年安保闘争では、沖縄は眼中になかった。「21 世紀の安保闘争」は、沖縄と繋がることを突破口に、アジアへと開かれ、アジア民衆とともに日本政府に挑む安保闘争にしなければならない。——「東アジア抗日非武装戦線」？

Ⅲ、沖縄県知事選に対する白井聡氏の論評を巡って

1、「第2、第3もっと多くの沖縄を。」という言い方について

- ・沖縄の状況を作ったのはヤマトの私・たちであり、その私・たちが無邪気に言えることばなのか？
- ・ヤマトに沖縄を作るということは、「闘いの〈前〉線を〈全線〉に！」という意味としては分かるが、Ⅱの1でふれているように、ヤマトは、沖縄を差別し軍事植民地化していることで自らをかろうじて成り立たせている現状なのだから、やはり「ヤマトに沖縄を」というよりは、「沖縄に呼応する闘いの〈前〉線→〈全線〉を」とする方が相応しいのではないか。

2、「永続敗戦レジームの代理勢力と「オール沖縄」としてこのレジームを拒絶する勢力との戦いだった」という見方について

- ・そのように見たいとは思いますが、現実には「オール沖縄」は、日米安保の問題や戦争責任の問題、天皇制の問題について語れるのか。基地をこれ以上作らせない、県外移設については一致しているが、「永続敗戦レジーム」の拒絶に向かっていると、どこまでいえるのか。「オール沖縄」になることで、そこへ行くのはかえって難しくなっているとも言えるのではないか。
- ・ただ、もう一方で、沖縄の「基地をどけろ」という叫びを、どのように聞き取るか、どのように呼応するかはヤマトの側の問題であり、安保や天皇制や戦争責任追及は、ヤマトの側が沖縄からの叫びに呼応して引き受けるべき課題なのだという事もできる。「オール沖縄」についてヤマトの側が軽々しく口をはさむことはできない。

参考資料

- ・9条改憲阻止の会「闘争アピール」＝沖縄「鏡像」論
- ・「憲法という教典」島田雅彦＝安保に届かない「平和憲法」の内にヤマトの私・たちは、自発的に幽閉されている。「外からは見えるのに内からは自分しか見えない鏡を張り巡らされたドームに閉じこめられた（自ら閉じこもる）日本国民」